

## Si-R570 V31.03 変更内容一覧

□修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V21.02～V31.02	INDEXとしてゼロをとり得るMIB値の場合、GET-NEXT要求で適切なMIB値が取得できない場合がある。
2	V21.02～V31.02	IPフィルタにて、IP payloadが1 octetしかないICMPパケットの場合に、ICMPフィルタ条件があっても透過する場合がある。
3	V31.00～V31.02	DHCPクライアントからアドレスを割り当てられている状態で、lan bindもしくはlan vlan bindを変更しcommitした場合に、IPアドレスが消えずに残る場合がある。
4	V30.00～V31.02	“vrrp action disable”を実行したとき、採取したMIBのvrrpOperStateの値が不当な値になっている。
5	V30.00～V31.02	show upnp portmapping コマンドで、UPnPでポートマッピングが作成されていても何も表示されない
6	V21.02～V31.02	telnet接続でSi-R装置へログインし、更にSi-R装置からtelnetコマンドで他装置にログインしているとき、コピー&ペーストやファイル送信等で大量のテキストデータを送信するとデータ抜けが発生することがある。
7	V21.02～V31.02	構成定義で upnp portmapping lease を設定していない状態で show candidate-config upnp portmapping lease を実行すると、設定できない値の 0d が表示される。この事象は表示の問題であり、設定操作は可能で、かつ操作上の制限等もない。
8	V21.02～V31.02	Si-Rシリーズ拡張モジュールHIオプション(SIR5AT)を使用して通信時、送信処理が停止する場合がある。
9	V21.02～V31.02	オーバーラップ・フラグメントのパケットが通過してしまう場合がある。
10	V21.02～V31.02	オーバーラップ・フラグメントのパケット転送時にシステムダウンすることがある。
11	V21.02～V31.02	コマンド名補完において、マニュアルに記載されていないコマンドが誤って表示される。
12	V21.02～V31.02	不正なIPパケット長のパケットをNAT処理するとシステムダウンすることがある。
13	V21.02～V31.02	装置起動時にLANコントローラのI/O構成情報が収集できない場合にelogを表示しない
14	V21.02～V31.02	DHCP6-PDクライアントに、IPv6プレフィックスを割り当てられているインタフェースのbindを変更してcommitすると、IPv6プレフィックスが削除されてしまう。
15	V21.02～V31.02	IPv6 プレフィックスを割り当てのための設定に誤りがあり、DHCPv6クライアントがlanインタフェースへのPDアドレスに失敗するとメモリ解放洩れが発生する。
16	V31.00～V31.02	lan bind設定を変更してcommitする動作を連続して繰り返すとインタフェースに割当てたアドレスが削除されない場合がある。
17	V21.02～V31.02	エラーログ事象が発生するとシステムがダウンすることがある。
18	V30.00～V31.02	vrrpNotificationCntlのMIB値がtrapコマンド設定に対して適切ではない。
19	V30.00～V31.02	IPv6に関する設定において、“ip6 filter”コマンドが定義され、かつ“acl ip”が定義され“acl ip6”が定義されていない場合に、本来IPv6パケットが無視されるはずが“acl ip6 any any”で扱われる。
20	V21.02～V31.02	fragmentされたIP optionつきパケットを受信した場合に、正しく処理できない場合がある。
21	V31.00～V31.02	Si-RルータがDHCPクライアントとして動作時、リース期間更新時(RENEW時)にルータアドレス等のオプションが取得できない。